

令和7年度第1回砺波市行政改革市民会議会議録（要旨）

1 開催日 令和7年10月23日（木） 午前9時00分～10時32分

2 場 所 砧波市役所 本館3階 大ホール

3 出席者 <市民会議委員 13名のうち10名>

大西会長、浅谷委員、天野委員、下保委員、神下委員、河合委員、
北山委員、齊藤一夫委員、齋藤幸恵委員、島田委員

（上田委員、武田委員、前田委員は欠席）

<市当局・事務局 17名>

夏野市長、島田副市長、白江教育長、坪田企画総務部長、横山福祉市民部長、
高畠商工農林部長、老建設水道部長、田村砺波総合病院事務局長、
安地教育委員会事務局長、佐伯企画政策課長、上田DX推進課長、
二俣総務課長、河合財政課長、福島DX推進課デジタル推進係長、
三部総務課行政係長、飯田総務課人事係長、池田総務課行政係主任

4 説明及び協議内容

- (1) 会議の趣旨説明及び会長・副会長の選出を行った。
会長に大西委員、副会長に前田委員を互選した。
- (2) 令和7年度行政改革推進体制について説明を行った。
- (3) 砧波市行政改革報告書（令和7年度）について説明を行った。
- (4) 砧波市行政改革推進計画（令和3年度～令和8年度）の進捗状況について説明を行った。
- (5) 令和7年度提案型事業評価に代わる新たな事業評価及び職員提案について説明を行った。
- (6) 砧波市行政改革庁内会議専門部会「窓口業務改革専門部会」の取組について説明を行った。
- (7) 砧波市デジタル化推進計画の進捗状況等について説明を行った。
- (8) (3)～(7)を踏まえて、意見交換を行った。

5 意見・協議の概要

【委 員】

事務事業のスクラップ等に係る提案を解決するためのタスクチームについて、通常業務に加え課題解決に取り組むことにより業務過多とならないか、また、提案をした職員本人は当チームの一員となるのか。

【市】

当該チームを募集した際にも示しているが、通常業務に支障がない範囲での活動を呼びかけているところであり、事務局である総務課としてサポートしていきたい。

また、提案者のプライバシー等を考慮し提案者本人は当チームに参加しないが、課題となる事業を実施する担当課の職員がオブザーバーとして参加することとしている。

【委員】

デジタル化の推進によりオンライン申請を積極的に行っていると思うが、どの程度業務量が削減できたのか。

また、小中学生向け電子書籍サービスは学校のみならず、自宅でも閲覧可能か。

【市】

電子申請サービスを活用したオンライン申請は、開始して間もないことから定量データの集計はできていないが、以前より導入しているスマート窓口は、窓口担当課にアンケートを実施したところ、作業時間がこれまで平均で5分かかっていたものが、3分に短縮されるなど効果を挙げている。

小中学生向け電子書籍サービスについては、生徒ごとにアカウントを配付しているため、自宅でも閲覧することができる。

【委員】

小中学校の生徒に対して市役所の窓口利用体験等を実施し、市役所における手続の必要性などを学ぶ機会を設けてはどうか。

【会長】

市役所での手続はどんなものがあり、自分たちの生活にどのように関係するかということを小学生等の早いうちから学ぶ機会があればいいと思う。

例えば窓口BPRの一環で小学生に市役所の窓口で手続をしてもらうこと等も考えられるのかなと思う。

【委員】

中学校の休日部活動の地域移行について、53の部活動のうち、42の部活動が地域クラブに移行とあるが、残りの11の部活動について今後どのように移行していくかビジョンをお聞きしたい。

【市】

まず前提として、休日に活動を行っていない部活動もあるため、全ての部活動が

地域クラブに移行できていないわけではない。現在45の地域クラブにおいて休日の活動を行っており、このほかにも現在調整中の団体もあり、今後速やかに調整できるように進めていきたい。

【委 員】

クマ等の有害鳥獣被害が頻発しており、市として有害鳥獣に対する訓練の実施や、各地区も含めた体制整備を行う必要があると思うがいかがか。

【 市 】

21地区の自治振興会に対して有害鳥獣対策に関する説明を行っているほか、緊急銃猟のマニュアルを作成しているところであり、今後も継続して実施していきたい。

【委 員】

学校再編により中山間地域に住む子ども等に対する通学手段の確保が必要と考えるがいかがか。

【 市 】

学校再編については該当する地区やPTAに説明を行っているところであり、今後「開校準備委員会」を立ち上げ、子ども達が安全・安心に通学できるよう検討していきたい。

【委 員】

事務事業のスクラップ等に係る提案を解決するためのタスクチームについて、何名の職員が参加する予定か。

【 市 】

5名の職員から応募があり、これに当該課題の所管課の職員1名を加え、11月から活動することとしている。

【委 員】

市の所有する物品を有効活用するため、イベント等を実施する際に貸出できないか。また、貸出できる物品について一覧としてまとめたものを掲載してはどうか。

【会 長】

市民が何かイベント等を行う際にお借りできるものが一覧としてあればいいと思う。これらはDXとの親和性があると思うので検討いただきたい。

【委 員】

空き家・空き地情報バンクの登録物件数の拡大について、出前講座を実施しているとあるが、その詳細をお聞きしたい。

【 市 】

各地区に配置している空き家コーディネーターを中心に出前講座を実施している。内容としては、各家庭ごとの家族構成や将来ビジョン等を考えてもらい、現在住んでいる住宅や家庭が数年後どのような状態になっているかを考えてもらい、それぞれの家庭状況に応じた提案等を行っている。

【市 長】

委員の皆さんには様々なご意見等をいただき感謝申しあげる。

新庁舎における1つの柱としてDXが挙げられるが、移転してすぐにDX化ができるわけではないので、今のうちからしっかりと準備を進めていきたい。

のことから、新庁舎への移転に先駆けて、行政手続のワンストップ化や電子化等について検討を進めるとともに、行政文書の整理等を行い、移転時にスムーズに移行できるような取り組みを進めているところである。

また、市役所の顔である窓口が新庁舎において市民の皆様から良い方向に変わったと印象を持ってもらえるような新庁舎整備を進めていきたい。

昨今の物価高や人件費の高騰の影響を受ける部分もあるが、財政規律を気をつけながら、行財政改革に取り組んでまいりたい。